

7/20(日)は 第27回参議院議員選挙

JR四国労組の 政策実現に向けて 国政の立場から支援の輪を 広げられるよう 投票に行こう!!

期日前投票も活用しよう!!

総勢230名が
会場に集結!

JR連合は、6月10(日)の2日間、東京都墨田区「東武ホテルイベント」にて第35回定期大会を開催し、代議員・特別代議員・傍聴者など約230人が会場に参集した。議長団の1人としてJR四国労組より香西若菜代議員を選出し、2025年度の運動方針等を満



議長団に選出された香西代議員

冒頭、JR連合を代表して挨拶に立った香西市長は「JR産業の持続的成長には経営の自立と民間活力の発揮が不可欠」と述べ、入社以来の経過を踏まえつつ「互いを認め合い、団結することが労働組合の本質。民主的組織である労働組合で組合員の信頼を得て活動できたことを誇りに思う」と31年間の組合専従活動を振り返った。

議長では、執行部より一般経過報告・決算報告とともに、新たにJR連合に加盟した四国鉄道機械ユニオンの松岡翔次執行委員長、栗飯原弘季書記長に加盟証書の贈呈が行われた。



議長団に選出された香西代議員



四国鉄道機械ユニオンが加盟!

また、2025年度運動方針案及び予算案の提起とともに「JR連合が緊急的に対応を求め重点政策課題について、JR一島・貨物会社がさらに40年、世の中へ貢献するために」と題して石川産業政策局長(JR四国労組から選出)から提言があった。それら



新たに上村会長を選出

の内容に対して、11名の代議員・特別代議員より、安組・組織拡大、政策活動・政治方針、男女平等参画等に関する質疑があり、JR四国労組からは、和田庄平代議員が安全、政策・政治活動、男女平等を含む組織活動の取り組み等について発言。担当役員の見解を答えて各議案は満場一致で可決された。役員改選では、相山会長、政所事務局長、相



引き続き選任された石川執行委員



昨年に続き「第4次男女平等参画行動目標」の一部を達成

良局長、羽野執行委員が退任し、上村会長(JR西労組)、今井事務局長、谷口執行委員、榎裕執行委員(いずれもJR東海ユニオン)が新たに選出された。



和田代議員

JR連合第35回定期大会開催!

組合員によるこの間の取り組みに感謝!!



受贈式の様子

JR連合は、6月4日(水)に高松市内において、四国の新幹線の「早期実現」を求める署名受贈式を行い、JR連合から産業政策局長(石川)が参加、JR四国労組からは大谷執行委員長(JR連合副会長)が参加の上、四国新幹線整備促進期成会・長井会長に25万筆(受贈式時点では23万3,146筆)の署名を手渡した。

四国の新幹線の「早期実現」を求める署名 約25万筆をJR連合が期成会に提出!

JR四国労組は、5月27日に行った1回目の交渉にて組合は「先行き不透明な状況が継続するも、移動需要の回復等による鉄道運輸収入の大幅な改善に加え、駅ビル等の開業効果もあり、2期連続の黒字決算を実現した。長期経営ビジョン2030の達成、JR四国グループが社会的使命を果たし続けるために人命の確保が最大の経営課題であり、組合員が生き生きと働くことが出来る環境を示すことが重要」と強く訴えた。

これに対し会社は、2回目となる6月12日の交渉にて「黒字決算を達成

5月27日に行った1回目の交渉にて組合は「先行き不透明な状況が継続するも、移動需要の回復等による鉄道運輸収入の大幅な改善に加え、駅ビル等の開業効果もあり、2期連続の黒字決算を実現した。長期経営ビジョン2030の達成、JR四国グループが社会的使命を果たし続けるために人命の確保が最大の経営課題であり、組合員が生き生きと働くことが出来る環境を示すことが重要」と強く訴えた。

これに対し会社は、2回目となる6月12日の交渉にて「黒字決算を達成

これに対し会社は、2回目となる6月12日の交渉にて「黒字決算を達成

ジェイアール四国バス 2.3カ月支給!! コロナ禍以前の水準近くまで 支給月数が回復

JR四国労組は、ジェイアール四国バスとの夏季賞与に係る団体交渉を5月26日、6月18日に実施した。1回目の交渉において組合は「昨年度決算は前年度を1億円以上上回る黒字決算となった。これは、少ない人員の中、各職場が一丸となって協力した「組合員の努力の賜物」。夏季賞与

粘り強く交渉を継続し、決算状況も踏まえ、賞与への組合員の期待の高さを強く訴え続け、迎えた2回目の交渉では、会社より昨夏を0.15カ月分上回る2.3カ月との回答が示された。組合は、要求月数と乖離があるものの、コロナ禍以前の水準まで回復してきたことや、本春闘での引き上げを踏まえ、この間の組合員の奮闘が評価された結果と判断し承諾するとともに、労使が一丸となって営業利益の確保や安全・安心輸送の取り組みを継続することを確認した。詳しくは、自動車支部ニュースNo.14、15を参照

夏季手当・賞与 交渉妥結 ライフプラン支援金含め 2.37カ月を勝ち取る!! ※賞与単体1.97カ月 一時金係数0.8x

JR四国労組は、5月14日に申第16号(18号にてJR四国に対し「夏季手当の要求等」を申し入れた。5月27日に行った1回目の交渉にて組合は「先行き不透明な状況が継続するも、移動需要の回復等による鉄道運輸収入の大幅な改善に加え、駅ビル等の開業効果もあり、2期連続の黒字決算を実現した。長期経営ビジョン2030の達成、JR四国グループが社会的使命を果たし続けるために人命の確保が最大の経営課題であり、組合員が生き生きと働くことが出来る環境を示すことが重要」と強く訴えた。

これに対し会社は、2回目となる6月12日の交渉にて「黒字決算を達成

発言要旨

【和田代議員】
①四国新幹線実現に向けた署名活動への取り組みに感謝。来る参議院選挙においても推薦候補全員の当選に努む。
②安全・安定・安心輸送の確立は最優先課題。職場の声を踏まえ労働組合の提言機能を発揮する。
③人材確保により教育体制の拡充等図る面からも労働環境改善を進める。改善にあたっては、男女ともに安

心して働きやすい環境整備が急務であり、女性リーダーの活躍は不可欠。「女性役員NW委員会」を有機的に活用できるよう取り組む。
④グループ会社全体での安全意識向上も課題。新たな四国鉄道機械ユニオンも含めJR四国連合一丸となつて安全風土の構築に努める。

安全推進委員会



各系統からの視点に基づき議論

6月23日(月)本部1階会議室において、安全推進委員会を開催した。冒頭、武智安全推進委員長より「JRグループにおいて、安全はすべてに優先する最重要課題。不安全事故が続いており、安全の確保に向けてしっかりとした議論が必要」との挨拶を受けた。

本部執行委員会

第10回 6月6日(金)本部1階会議室にて第10回本部執行委員会を開催した。

- ・組織の強化・拡大 (経営協議会)
- ・2024年度決算・安全・事故防止 (ともにJR四国・ジェイアール四国バス)
- ・2025年度夏季手当 (夏期賞与 (JR四国・ジェイアール四国バス))
- ・新幹線署名の集計結果及び手交式 (財政)
- ・部内監査 部外監査 (職場対話)
- ・徳島 香川 自動車 (部会)
- ・工務部三役分科長会議 (部会)
- ・常務部三役分科長会議 (部会)
- ・第二回支那対抗ソフトボール大会 (経協)

乗務員共済運営委員会

安全推進委員会と同日「乗務員共済運営委員会」を開催。冒頭、武智乗務員共済運営委員長から「乗務員共済はJR四国労組の独自共済、より良い仕組みとなるよう議論をお願いする」と挨拶し、議事に入った。

出向組合員対話集会

愛媛県庁(6月27日(金)、香川支部・本社支部ならびに高知支部は、6月30日(月)、徳島支部は7月2日(水)にそれぞれ支部主催の出向組合員対話集会を開催した。

- ・第29回ユースラリー (レク)
- ・第3回ドッチビー大会 (共闘)
- ・第30回交通運輸政策研究集会
- ・第3回地方代表委員会 (JR連合)
- ・JRグループ労組連絡会拡大幹事会 (組織)
- ・2024年度決算における剰余金の処理について (2025年度の財政方針について)
- ・第14回定期大会 (4)ダイヤ改正実施後の経営協議会の付議について (5)総労協協約改訂に関する要求項目の集約について (6)男女平等参画の実現に関するトピックについて (7)当面するスケジュールについて (8)その他

- ・2025年度夏季手当・夏期賞与 (JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・安全推進委員会 (業務)
- ・東京地区、大阪地区集会 (組織)
- ・出向組合員対話集会 (職場対話)
- ・自動車 (教育)
- ・ユニオンスクール (特設コース)
- ・2024年度決算における剰余金の処理について (2025年度の財政方針について)
- ・第14回定期大会 (4)ダイヤ改正実施後の経営協議会の付議について (5)総労協協約改訂に関する要求項目の集約について (6)男女平等参画の実現に関するトピックについて (7)当面するスケジュールについて (8)その他
- ・7月11日(金)ホテルクレスト高松にて第11回本部執行委員会を開催した。
- ・2025年度夏季手当・夏期賞与の妥結承認について

四国交通労働鉄道部会・バス部会 四国運輸局への要請行動を実施



白熱した議論を行った自動車部会

四国地方交通運輸産業労働組合協議会(四国交通労働部会)は、6月24日(火)に鉄道部会、30日(月)にバス部会が、それぞれサンポート高松合同庁舎にて四国運輸局への要請行動を行った。



要請書を手交する和田鉄道部会長(右)

鉄道部会では、和田鉄道部会長のほか、委員として、池田佳憲委員(本社支部副執行委員長)が出席し、特に「労働力確保に向けた支援、ポリシーミックスの観点から文書費を活用した支援」、「女性活躍の推進」、「ワンマン列車対策」等について必要な措置を取るよう要請した。

男女平等参画推進委員会開催

5月10日(土)本部1階会議室において、「第1回男女平等参画推進委員会」を開催。委員からは、JR連合の取り組みとして、「第4次男女平等参画行動計画」の内容について再周知した上で、目標達成に向けて各級機関での取組みがどうか

5月10日(土)本部1階会議室において、「第1回男女平等参画推進委員会」を開催。委員からは、JR連合の取り組みとして、「第4次男女平等参画行動計画」の内容について再周知した上で、目標達成に向けて各級機関での取組みがどうか

ユニオンスクール開設コース (管理者セミナー)



管理者組合員として取り組むべき事柄について理解を深めた

6月5日(木)サンポート会議室(香川県高松市)において、ユニオンスクール「特設コース(管理者セミナー)」を開催した。本スクールは、現場長・助役、非現業部門の主任者等を対象として実施して

JR四国労組 議員団会議総会開催



6月26日(木)本部1階会議室にて、JR四国労組議員団会議第34回総会を開催した。冒頭、山本悟史団長(香川県議会)より挨拶を受けて、議事に入り、経過報告、会計・会計監査報告を行い、今年度の取り組みについて事務局より説明。新年度の役員体制を確定した後、会場の活動内容、政策課題等について認識共有をした上で、地域交通における課題や労働力確保、会社施策等

- ・団長 山本 悟史 (香川県議会)
- ・副団長 藤 乃里子 (多度津町議会)
- ・幹事長 橋本 敏男 (高知県議会)
- ・幹事 米田 優 (高松市議会)

第3回 ドッチビー大会 開催!

5月24日(土)、本部主催第3回ドッチビー大会を本年3月にオープンした「あなぶきアリーナ香川(高松市)」にて開催し、総勢64名が参加した。



真新しいあなぶきアリーナで熱戦!

鉄道版交通安全教室開催!



右見て～! 左見て～!

香川支部青年女性会議は、6月10日(月)「学校法人聖母学園 高松聖母幼稚園」にて、鉄道版交通安全教室を開催した。

この活動は、子供による線路内立入等によるヒヤリハットの経験を教訓にボランティア活動の一環として青年女性会議が主体となり企画し、今回は24回目の開催となった。

支部青年対抗ソフトボール大会



本部青年女性会議は、5月16日(金)香川県青年センター(高松市)にて、第2回ソフトボール大会を開催し、四国各地から集った60名の青年組合員が6チームに別れリーグ戦にて競い合った。経験者だけでなく未経験者や女性もハツラツとプレーし、仲間たちと交流を深めた。スポーツを通して、職場や系統の枠を越えて親睦を深めることができた。